



## 学校改善に向けた「保護者・生徒アンケート」(12月)結果

12月に実施した保護者アンケートの結果(回答数84)と生徒アンケートの結果を併せてお知らせいたします。ご多用の中、アンケートにご協力をいただきありがとうございました。この結果につきましては、教職員と共有し、今後の学校改善につなげて参ります。また、学校運営協議会にも報告させていただきます。[※数値は「そう思う」・「大体そう思う」と肯定的な回答をした人数を併せた割合です。(↑)は、7月より数値が上がった設問です。]

保護者アンケートの回答		
1	子どもは楽しく学校に通っている。	94.1% ↑
2	学校は一人ひとりを大切にした教育活動を進めている。	84.5%
3	子どものことについて、先生と気軽に相談できる。	83.3% ↑
4	子どもは学校の授業を「わかる」と言っている。	76.2%
5	子どもには基礎的・基本的な知識や技能、学力がついてきている。	81.0% ↑
6	話し合い活動を通して、自分の考えを深めたり広げたりすることは、子どもの学びにつながる。	94.1%
7	子どもは「道徳」の授業で扱った教材や内容について、家で話題にすることがある。	35.7%
8	子どもには日常の運動を通して、必要な体力がついている。	72.6%
9	子どもは家庭学習に計画的に取り組んでいる。	55.9%
10	子どもは読書をよくする。	36.9%
11	子どもは挨拶や場面に応じた適切な言葉遣いを身につけている。	89.2% ↑
12	子どもは学校のきまりやルールの意義を理解し、守っている。	95.2%
13	子どもとケータイ・スマホ・メール・ラインなどの使用ルールを決めている。	72.6%
14	校舎や教室は整理整頓され、掲示物等は分かりやすく配置されている。	94.1%

生徒アンケートの回答			
1	学校生活は楽しい。	1年	96.6%
		2年	96.0% ↑
		3年	91.2% ↑
2	先生は自分のよいところを認めてくれている。	1年	96.5%
		2年	95.1% ↑
		3年	85.0% ↑
3	困ったことや悩みを先生に相談できる。	1年	88.2% ↑
		2年	82.5% ↑
		3年	79.5% ↑
4	授業はわかりやすい。	1年	93.8%
		2年	85.5%
		3年	84.1% ↑
5	毎時間の授業において、学習の目標を理解し、学習した内容を振り返ることができている。	1年	76.5%
		2年	73.5%
		3年	66.4% ↑
6	話し合い活動では、自分とは異なる意見や少数意見の良さを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめている。	1年	87.5% ↑
		2年	87.3%
		3年	85.9% ↑
7	道徳の授業を通して、考えたり、友だちと意見を交流することで、新たな気づきがあったり、考えが深まったりした。	1年	95.9% ↑
		2年	96.1% ↑
		3年	91.1% ↑
8	日常の運動を通して、必要な体力がついている。	1年	84.0% ↑
		2年	85.3%
		3年	79.0% ↑
9	家庭学習に計画的に取り組んでいる。	1年	65.1%
		2年	55.3%
		3年	71.9% ↑
10	読書をよくする。	1年	42.7% ↑
		2年	48.6%
		3年	36.8%
11	挨拶や場面に応じた適切な言葉遣いをしている。	1年	92.4%
		2年	92.2% ↑
		3年	90.4% ↑
12	学校のきまりやルールの意義を理解し、守っている。	1年	97.3% ↑
		2年	94.1% ↑
		3年	94.5% ↑
13	SNSの利用にあたっては、その特性を理解し、ルールを守って利用している。	1年	96.6%
		2年	95.2%
		3年	92.9%
14	校舎や教室は整理整頓され、掲示物等は分かりやすく配置されている。	1年	93.1% ↑
		2年	94.2% ↑
		3年	89.4% ↑

保護者アンケートの回答		
15	子どもは家庭で学校のことをよく話す。	64.3%
16	子どもは朝ごはんを毎日きちんと食べている。	89.3%
17	子どものよいところをほめるなどして、自信をもたせるようにしている。	83.4%
18	子どもと将来の夢や生き方について話をする。	75.0%
19	学校の様子がホームページ等でよく分かる。	81.0% ↑
20	学校行事に参加すると学校の様子がよくわかる。	86.9%

生徒アンケートの回答			
15	学校の話について家族とよく話をする。	1年	88.9% ↑
		2年	83.5% ↑
		3年	80.5% ↑
16	朝ごはんは毎日きちんと食べている。	1年	89.6% ↑
		2年	91.0% ↑
		3年	89.4% ↑
17	自分にはよいところがある。	1年	84.0% ↑
		2年	83.3% ↑
		3年	79.7% ↑
18	将来について夢や目標がある。	1年	75.7% ↑
		2年	70.9% ↑
		3年	73.7% ↑
19	いじめはどのような理由があってもいけないことである。	1年	95.8% ↑
		2年	95.2%
		3年	92.1% ↑
20	みんなで協力して何かひとつのことに取り組むことは楽しい。	1年	97.3% ↑
		2年	93.2%
		3年	92.1% ↑

「学校生活は楽しい」と感じている生徒の割合は、前回の数値を1年生が0.6%下回りましたが、2年生は8.8%、3年生は5.4%上回りました。また、ご回答いただいた9割を超える保護者の方々に「子どもは楽しく学校通っている」と肯定的に捉えていただきました。

これまで本校では、「自分にはよいところがある」、「将来について夢や目標がある」といった設問への肯定的な回答の割合がやや低くなる傾向が続いておりました。そこで、カリキュラム・マネジメントを通して、教科・総合的な学習の時間・道徳・特別活動等、学校の全ての教育活動において、自己肯定感を高める取組を推進して参りました。小中連携では、「しなやかな道徳」の研究指定を受け、小中共通の課題を共有し、テーマを「自己肯定感を高める」と定め、授業研究に取り組みました。また、学校運営協議会でも、生徒が活躍できる場として、プランターの苗植えなどのボランティア活動を企画し、学校と協働で取り組んでいただきました。こうした取組が功を奏して、今回実施のアンケートでは、「自分にはよいところがある」、「将来について夢や目標がある」の設問について、全ての学年において肯定的な回答が前回の結果を上回ることができました。

また、同様に本校の課題として、「家庭学習に計画的に取り組んでいる」、「読書をよくする」といった設問への肯定的な回答の割合が低いことが挙げられます。受験勉強に向かう時期である3年生では、家庭学習に計画的に取り組んでいる割合が上昇しましたが、その分、読書に取り組む割合が減少しています。朝読書の定着もあり、1年生では、読書に取り組む割合が増えましたが、3年生が部活動を引退し、主軸となって活躍する2年生では、家庭学習や読書に取り組む時間が減少しています。学校で学習した内容の定着を図るための復習や、事前の調べ学習とし

て、各教科から出される宿題がありますが、宿題＝家庭学習とは限りません。宿題は全員が同じ課題に取り組みますが、家庭学習では、お子たちの学習意欲や興味、学習の定着状況に合わせて、個々に取り組む内容が異なります。学校で長期休業期間中に取り組む自由研究などをイメージしていただくとはわかりやすいのではないかと思います。苦手なことばかりだと、学習へのモチベーションを保つことは難しくなりますので、興味のもてる分野についての調べ学習や発展的な学習に取り組むことで、さらに学習への興味が湧き、個々の可能性を引き出すことで、学習習慣の定着に繋げていけると考えます。ご家庭での声掛けや、ご支援もよろしくお願いいたします。

「日常の運動を通して、必要な体力がついている」という設問では、1・3年生の割合が上がりました。ここ数年のコロナ禍の中で、京都市が実施する「新体力テスト」の結果も良好とは言い難い結果が続いていましたが、体育科を中心に1校1プランに取り組み、徐々に改善が見られるようになっていきます。

保護者アンケートの「子どものことについて、先生と気軽に相談できる」、生徒アンケート(全学年)の「困ったことや悩みを先生に相談できる」という設問に対する割合が上がりました。生徒アンケートでは、多くの項目で肯定的な回答が増えましたが、割合が高いか低いかには捕らわれるのではなく、全教職員が同じ方向を向いて、課題や目標を共有し、よりよい学校づくりを目指して、全校体制で取り組んでいく所存です。お忙しい中、アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。今後とも、本校教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

